

基準 8 施設・設備

(1) 観点ごとの分析

観点 8-1-①: 学校において編成された教育研究組織の運営及び教育課程の実現にふさわしい施設・設備が整備され、適切な安全管理の下に有効に活用されているか。また、施設・設備のバリアフリー化や環境面への配慮がなされているか。

(観点に係る状況)

本校は、教室、研究室、実験・実習室はもちろん、運動施設、情報処理教育センター、ものづくり教育研究棟、図書館、視聴覚教育施設（アセンブリホール、マルチメディア教室）、実習工場、学生寮、厚生補導施設、練習船「弓削丸」、実習船「はまかぜ」、実習船係留場（艇庫・浮棧橋）、各種舟艇など各学科の多岐にわたり様々なスキームに対応できるよう、多くの施設・設備が整備されている。施設延面積は校舎地区が 19,423 m²、実習船係留施設が 718 m²（海上構築物が 1,152 m²）、学生寮が 9,059 m²である（資料 8-1-①-1, 2）。

教室は、快適な環境で学習できるよう、全室にエアコンが装備されている。運動施設としては、日本陸連公認の 400mトラックの陸上競技場の他、野球場やテニスコート 5 面が整備されている。また、バレーコート 2 面が取れる体育館が 2 棟あり、第一体育館 2 階には筋力トレーニング用機器が整備されている。武道場と剣道場も別々にあり、更に 25mの屋外プール施設が配置されている。

勉学支援施設としては、情報処理教育センター、情報処理演習室、製図室、専攻科用レクチャールーム・オープンラボ・PC室、図書館、実習工場などが整備されている。情報処理教育センターには、サーバ室、端末室のほか、講義・演習の行える教室や事務室がある（資料 8-1-①-3）。図書館では、蔵書や学術雑誌、しまなみ海道地域の海事資料など約 77,000 冊の多彩な書籍があり、自主的学習スペースや史料館も併設されている（資料 8-1-①-4）。また、検索サービスや時間外開館、地域開放も行われている。実習工場では、近年、最新型の NCフライス盤及び NCワイヤカット放電加工機を導入したばかりであり、各種工作機械が整備されており、各学科の実習や研究に活用されている（資料 8-1-①-5）。実習工場横には、技術職員のための事務室が整備されており、実習工場の安全管理の役割を果たしている。また、実習に関しては、常時携帯用の「実験実習安全必携」を配付し、作業着、作業帽、安全靴の着用やテーマごとに安全指導を行っている。

三級海技士の第 1 種船舶職員養成施設として認定されている商船学科を有する本校の特徴として、練習船「弓削丸」及び実習船「はまかぜ」を整備している（資料 8-1-①-6）。これらを係留するために、実習船係留場が設置されており、平成 22 年度に、新営艇庫が竣工し、船舶の安全運行支援のために舟艇管理室も整備されている。続いて、平成 23 年度には、固定橋・可動橋の改修を行った。このように、実習船係留場の施設更新を、順次進めているが、浮棧橋の老朽化が著しく更新が喫緊の課題となっている（資料 8-1-①-7）。練習船「弓削丸」は、海技技術者育成のためだけでなく、電子機械工学科や情報工学科などの工業系学生も航海実習や授業、卒業研究等で利用している。航海実習については、航海実習のしおりに作成・配布し、実習内容の確認だけでなく、実習に必要な心構え、服装、実習環境や留意事項など学生が安全に実習できるように指導している。更に、他機関との共同研究、四国地区高専との連携・交流事業、オーブ

ンキャンパス、体験公開や地域イベントへの参加による海事技術、知識の普及など多方面で活用されている（資料 8-1-①-8）。

以上のような施設・設備は、授業時間割の編成を工夫して、授業や実験・実習で幅広く利用されている（資料 8-1-①-9）。また、図書館、体育館、運動場、実習工場などについては、課外活動や放課後の自主的学習でも活用されている。

本校は、遠方からの入学者が多いことと規律ある団体生活を学ばせるため、学生寮を設置している（資料 8-1-①-10）。1、2年生は原則として全寮制であり、寮生活を通じ基本的な生活習慣を身に付けさせ、技術者としての資質を育成している。平成 23 年度に、全室にエアコンを整備し、より快適な寮生活を送ることができるようになった。しかしながら、寮生数の急増により居室が不足しており、居室の部分改修による定員増だけでなく、新棟建築が喫緊の課題となっている。

厚生補導施設としては、「白雲館」と「青雲館」がある。「白雲館」は、食堂や会議、研修、合宿のために利用されており、「青雲館」は、教職員の福利厚生や非常勤講師など学外利用者の宿泊に利用されている。

障害のある学生への考慮として、バリアフリー化を進めてきている。現在、バリアフリー化している建築物は、校舎地区内で管理棟、一般科目棟、ものづくり教育研究棟、白雲館、第 1 体育館、第 2 体育館、図書館、武道場である。学生寮地区では A 棟、実習船係留場地区では艇庫が該当している。バリアフリー化の状況は、資料 8-1-①-11 のとおりである。

環境面に配慮した施設として、太陽光発電システムを導入し、管理棟屋上にパネルを設置している。これにより、使用総電気量の約 2% をまかなうことができている。また、「ものづくり教育研究棟」においては、エネルギー効率の高い省エネルギーシステムを積極的に導入し、環境負荷低減をより推進させている（資料 8-1-①-12）。

（分析結果とその根拠理由）

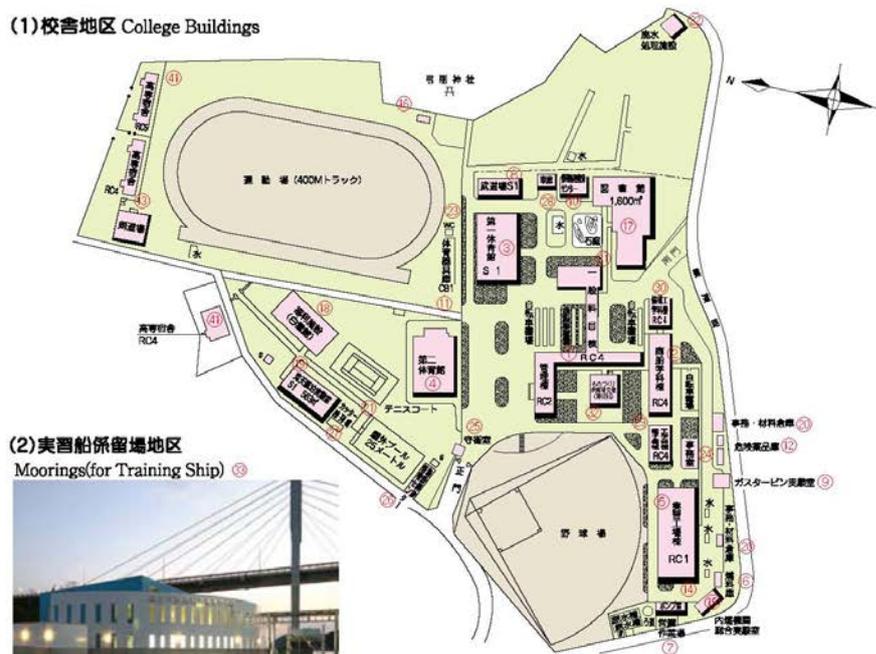
本校の教育研究組織の運営及び教育課程の実現にふさわしい施設、設備が十分に整備されており、適切な安全管理の下で有効に活用されている。特に練習船「弓削丸」は海技技術者育成のためだけでなく、工業系学生の教育・実習、教員の研究や他機関との共同研究、四国地区高専との連携・交流事業、オープンキャンパス、体験公開や地域イベント等さまざまな分野でも活用されている。また、施設・設備のバリアフリー化や環境面への配慮がなされている。

施設の概況 General Situation of Facilities

建物配置図

Arrangement Map of Buildings

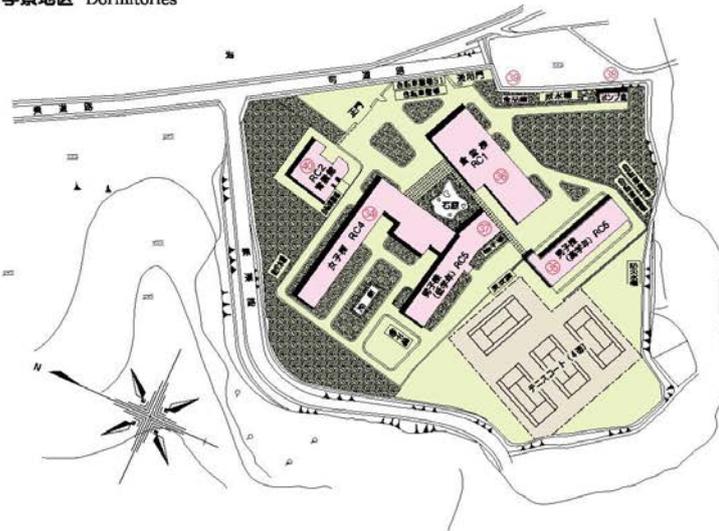
(1) 校舎地区 College Buildings



(2) 実習船係留場地区 Mooring (for Training Ship)



(3) 学寮地区 Dormitories



(出典：2012 学校要覧 P. 40)

施設の概況 General Situation of Facilities



(出典：2012 学校要覧裏表紙)

Computer Education Center 情報処理教育センター

情報処理教育センターは、昭和50年に開設され、情報処理教育、学術研究および事務処理等に幅広く利用されている。

平成7年度末に構築された校内 LAN システムは、数回の更新を経てギガビットネットワークに増強、平成20年度には仮想サーバが導入され、環境問題に配慮したシステムを構築している。

また、平成17年度に更新された学習用計算機システムは、OSにWindowsとLinuxが用意され、用途に応じて使い分けができる。最先端のネットワークブートに対応し、停電などの障害にも強い。平成22年6月に最新システム(120台)に更新された。マイクロソフト包括ライセンス、MSDN AAにより、学生が自由にアプリケーションを利用できる環境が構築されている。

近隣小中学校・家庭を接続した弓削島ネットワークシステムの運用実験やIT講習会、公開講座の実施、技術相談室の設置など、地域に開かれた施設として活動を行っている。

Computer Education Center was established in 1975 and used widely for the information processing education, researches as well as administrative work.

LAN System was established in the school site at the end of 1996 school year, and has been upgraded several times to have gigabit-class network. In 2008, virtual server was introduced to establish eco-conscious network system.

In 2006, upgraded computers operated both on Linux and Windows were ready for students. The equipment is regularly kept pace with the latest network standard and can be used even during the electricity failure. In June 2010, 120 latest machines were introduced under the comprehensive license agreement with Microsoft called MSDN AA and students use the application whenever they want.

The school IT network is extended to primary and secondary schools and private houses in the vicinity to make YUSE-JIMA Network. It is open to local community and provides numerous experiments, IT seminars, open lectures and tech counseling.



情報処理教育センター [Computer Education Center]



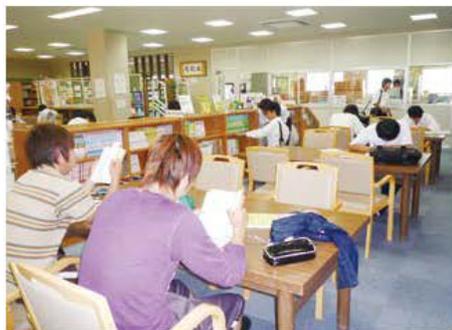
IT講習会 [It Course]

(出典：2012 学校要覧 P. 27)

図書館 Library



図書館 [Library]



閲覧室 [Reading Room]

図書館は一般教養図書、専門図書、参考図書(辞書・事典・年鑑等)など約77,000冊を所蔵する。そのほか新聞8種類、各種資格試験問題集、英語多読用図書、小説、新書、DVD、寄贈雑誌、購入雑誌43種類などがある。図書館所蔵資料は著作権法で許される範囲において、有料で複写することができる。

開館時間は、平日は8時30分から18時、土曜日と日曜日は10時から16時である。館外貸出は、1人3冊、2週間の期限で利用できる。

なお、平成5年4月からは地域住民へのサービス提供の一環として図書館の開放を行っており、本校の学生とほぼ同じ条件で閲覧および貸出の利用ができる。

The library has about 77,000 books, such as general culture books, technical books and reference books (dictionaries, encyclopedias, almanacs, etc.). It also has eight kinds of newspapers and 43 kinds of books, e.g. various qualification test question collections, English extensive reading books, novels, small-sized paperback books, DVD's, presentation and purchased magazines, etc. Students can make pay copies of library books and materials within the Copyright Act.

Opening hours are from 8:30 to 18:00 on weekdays and from 10:00 to 16:00 on weekends. Three external lending books in two weeks are available.

Also it opens to the local people in connection with our service offering since April 1993. Residents can use the library on the same condition of our students.

雑誌の種類

Kinds of Magazines

雑誌 [Magazines]	43 種類
新聞 [Newspapers]	8 種類

史料館

College Museum of History

本校の歴史の部門として、昭和46年11月に設置された記念館「善林堂」から引き継いだ資料を展示し、昭和60年以後新設された電子機械工学科、情報工学科、そして航海学科、機関学科およびこれを引き継いだ商船学科関連の展示をしている。

We display the collections of our memorial house called "Zen Rin Dow", built in November 1971, and also commemorative materials related to the Department of Electronic Mechanical Engineering, Information Science and Technology, Navigation and Engineering, and Maritime Technology established in and after 1985.



村上 三島 書 [Calligraphy by Santo Murakami]



史料館入口 [Entrance to the College Museum of History]



館内 [Inside the Building]

(出典: 2012 学校要覧 P. 30, 32)

Training Workshop 実習工場

■主な設備

NCフライス盤、NC放電加工機、NCワイヤカット放電加工機、ボール盤、形削り盤、万能工作器、旋盤、木工旋盤、ラジアルボール盤、溶接機、エアープラズマ切断機、自動溶接器、メタルソー、糸鋸盤、精密卓上旋盤、フライス盤、ロボット（溶接）、YAGレーザー切断・溶接兼用機、冷凍・空調実験装置

Main facilities

NC milling machine, NC electrical discharge machine, NC wire-cutting electrical discharge processor, Drilling machine, Shaper, Universal machine tool, Lathe, Wood-turning lathe, Radial drill machine, Welder, Air plasma cutting machine, Automatic welding

machine, Metal slitting saw, Scroll saw, Precision bench lathe, Miller, Robot (welding), YAG laser cutting & welding combination machine and Freezing & air-conditioning test equipment



実習風景 [Students in Training Workshop]



NCワイヤークット放電加工機（実習風景）
[NC Wirecutting Electrical Discharge Processor(Practice Scene)]

（出典：2012 学校要覧 P. 29）

練習船 Training Ship

(平成6年3月竣工)

練習船「弓削丸」

Training Ship "YUGE MARU"



練習船 弓削丸 [Training Ship "YUGEMARU"]

弓削丸は、最新の技術を結集して建造された練習船で、通航技術を取得するための航海実習はもとより、学生及び教員の実験研究にも活用している。また、船内 LAN を陸上機器につなぎ、情報の交換や陸上より司令を出すことで船舶を管理する研究など、未来の通航技術の開発も目指している。

- 質 格 近海区域・第 4 種船
- 主要寸法 全長 40.0 m、巾 8.0 m、深さ 3.3 m
- 総 吨 数 240.0 吨
- 航続距離 約 2,300 哩
- 航海速度 約 13.75 ノット
- 主 機 関 ダイハツ 6 D、M-24 S L 4 サイクル、中速ディーゼル機関 1,300 P S / 750 r p m
- 主発電機 三相交流自励式 2 台 (187.5 K V A)
- 軸発電機 (150 K V A)
- 定 員 乗組員 9 名、実習生 44 名、その他 3 名、計 56 名

航海コンソール式、機関コンソール式、C・R・T ディスプレイ装備、パウスラスタースタター装備 (推力) 1 トン、スタンスラスタースタター装備 (推力) 1 トン



航海実習 [Navigation Practice]

The training ship "YUGE MARU" was built with cutting-edge technologies for navigation trainings to acquire operational technologies and experimental studies of students and teachers. We have connected the inboard LAN and onshore facilities to develop future operational technologies, such as the research of ship-management by exchanging information and commands from the office.

License: Greater coasting area · Class 4 ship
 Main size: Length 40.0m, Width 8.0m, Depth 3.3m.
 Gross ton: 240.0 ton
 Cruising radius: About 2,300 n-miles
 Sea speed: About 13.75 knots
 Main engine: Daihatsu 6D, M-24SL, 4-stroke Medium-speed diesel engine 1,300 PS/750 rpm
 Main generator: 2 three-phase AC self-excited generators (187.5KVA)
 Shaft generator: (150KVA)
 Capacity: 9 crews, 44 trainees, 3 others Total 56 crews
 A set of navigation console, a set of engine console
 C・R・T display equipment
 Bow thruster equipment (thrust) 1 ton
 Stun thruster equipment (thrust) 1 ton

(平成12年3月竣工)

実習船「はまかせ」

Training Ship "HAMAKAZE"



実習船 はまかせ [Traning Ship "HAMAKAZE"]

(出典: 2012 学校要覧 P. 28)

Moorings for Training Ships 実習船係留場

平成 23 年 1 月に完成した新艇庫は、国内でも珍しい海上型の建築物で、授業や部活動等で使用する救命艇やカッターなどを収容している。

The new boathouse, completed in January 2011, is an unusual building in Japan in that it is located in the sea. Lifeboats and cutters used both in classes and in club activities are stored there.

鉄骨造 Structure: Steel-frame

地上 2 階 Floors: 2

延べ床面積 Total Floor: 718 sq. meters

■主な施設・設備

カッター、舟艇、ヨット、救命艇、救命筏、ボートダビット、検潮器

Main facilities and equipments

Cutter, Vessel, Yacht, Lifeboat, Liferaft, Boat davit, Tide gauge



艇庫 [Boathouse]

(出典：2012 学校要覧 P. 29)

平成25年度 弓削丸運航予定表

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
4月					入学式			新入生 オリエンテーション																									
5月																																	
6月																																	
7月																																	
8月																																	
9月																																	
10月																																	
11月																																	
12月																																	
1月																																	
2月																																	
3月																																	

備考：―― 囲みは定期試験、―― 囲みは追試験及び、再試験

―― 囲みは定期試験、―― 囲みは追試験及び、再試験

(出典：練習船弓削丸班)

Welfare Facilities 厚生補導施設等

学寮

Dormitory

本校における学寮は、第1学年及び第2学年は原則として全寮制、第3学年以上は許可入寮制であり、海技技術者及び工業技術者として必要な資質を身に付けさせることを目的とする教育施設である。

団体生活を通じて、友愛、協調と自主の精神を養い、責任と規律ある生活を体得させ、技術者としての適性を効果的に育成するものである。

All of the first and second year students live in a dormitory. Third year and older students can stay there if they wish and when the rooms are available. All students experience living in a group harmoniously, and at the same time, develop their friendship, independence and sense of responsibility through the disciplined group life. They are the indispensable characteristics for the future navigation engineers.



学寮（白砂寮）[Dorm Shirasuna]



女子寮 [Dorm for Female Student]

「青雲館」

Welfare Facilities "Seiun Kan"

「青雲館」は、教職員の福利厚生を図るとともに、校外者の宿泊を目的とした施設で、宿泊室・多目的室・ホール等がある。

"Seiun Kan" is the facility for benefits to the staff and guests stay. It has guest rooms, a multipurpose room, a lobby and so on.



青雲館ロビー [Seiun Kan Lobby]



宿泊室内 [Room]

学生相談室

Counseling Room

学生生活を豊かで充実したものとするため、以下のとおり、相談室を開設し、学生の個人的な悩み事等の相談に応じている。

また、水曜日の午後及び木曜日は専門のカウンセラーによるカウンセリングもを行っている。

For students' better lives, we provide the counseling room to listen and offer advice on their concerns.

We offer personal counseling by specialists every afternoon of Wednesday and Thursday.

Place: The second floor of the library
Opening Hours: 8:30 ~ 17:00, Monday to Friday

開設場所	図書館 2 階
開設時間	月曜～金曜日 8時30分～17時00分

「白雲館」

Welfare Facilities "Hakuun Kan"

「白雲館」は、学生の憩いの場及び学生教職員相互のふれあいの場として親しまれ、学生食堂・売店・和室・多目的室等の施設があり、食堂の他に合宿・集会・会議等に利用している。

また、ホールにはテレビが設置されており、学生たちが食後のひとときをすごしている。

"Hakuun Kan" is the place for students and teachers to have mutual communication, training camps, assemblies, meetings and so on. There are a dining room, a school store, Japanese rooms, a multipurpose room, etc.
Students spend the time after meals at the TV in the lobby.



食堂 [Cafeteria]



白雲館 [Hakuun kan]

(出典：2012 学校要覧 P. 31, 33)

自動ドア(進入口) 管理棟・一般科目棟	多目的便所 管理棟・一般科目棟
	
EV(エレベーター昇降設備) ものづくり教育研究棟	スロープ(進入路) 白雲館
	

表1 身障者配慮施設一覧表

バリアフリー化 種 建物種	団地名称	スロープ	自動ドア	多目的便所	EV	呼出装置
		(進入路)	(進入口)		(昇降設備)	(非常時)
管理棟・一般科目棟	下弓削	○	○	○	—	○
ものづくり教育研究棟	下弓削	○	—	—	○	—
白雲館	下弓削	○	○	○	—	○
図書館	下弓削	○	—	—	—	—
第1体育館	下弓削	○	—	—	—	—
第2体育館	下弓削	○	—	—	—	—
武道場	下弓削	○	—	—	—	—
低学年棟 (A棟)	日比	○	—	—	—	—
艇庫	学校棧橋	—	—	○	—	—

(出典：総務課)

校長挨拶

国立高等専門学校機構では平成 18 年 2 月に「高専機構環境方針」を定め、平成 20 年 3 月には「独立行政法人国立高等専門学校機構における温室効果ガス排出抑制等の取り組みについて（指針）」を制定し、温室効果ガス排出量削減に向けて取り組みを行っています。

本校でも平成 18 年 2 月に環境マネジメント委員会を設置し、地球環境保全のための取り組み、地域と連携した環境保全活動の推進に努力しています。教室、実験室等でのエアコン、照明の適切な利用や校内練習船の省エネ運転、夏季の緑のカーテンによる冷房効果の改善など、身近にできることから活動を行っていった結果、練習船の航行距離の増加やものづくり研究棟の新設などにもかかわらず、平成 21 年度には平成 16 年度比で温室効果ガスの排出量を 6.1%削減できました。

本校が位置する芸予諸島は瀬戸内海のほぼ中心にあり、製塩事業や養殖漁業など自然と調和した産業の栄えた地域であります。また、しまなみ海道の利用者に喜ばれる美しい景観と豊かな水産資源に恵まれています。このようなすばらしい環境を後世に残していくためにも、環境保全のために努力していきたいと考えております。

平成 23 年 2 月 16 日

弓削商船高等専門学校 校長 落合 敏邦

環境改善のための設備投資

平成 20 年 3 月に完成した「ものづくり教育研究棟」の建造に関しては、国の基準を守ると共に予算の範囲内で許す限り高エネルギー効率の省エネシステムや機器を選定しました。

分類	実施内容
新規	「ものづくり教育研究棟」に省エネシステム（ペアガラス・エコアイス・昼光制御照明システム・人感センサー・空調機器集中管理システム）を導入



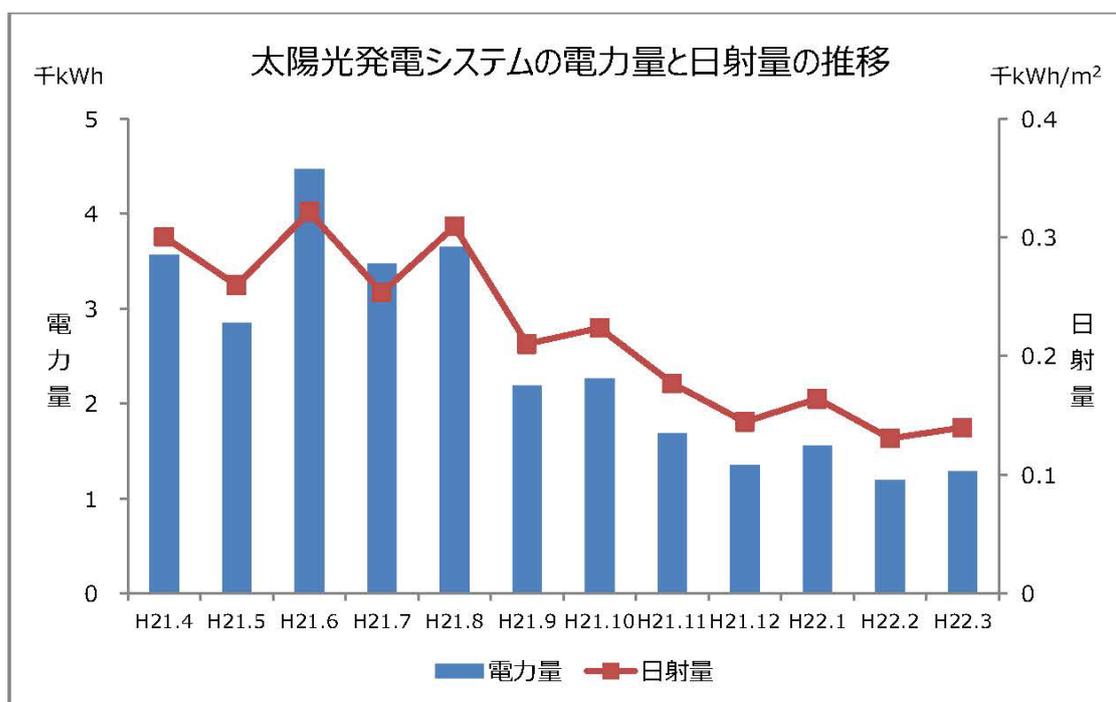
(出典：環境報告書表紙 P. 1, 12)

資料 8 - 1 - ① - 12 - 2

太陽光発電

年度	日照量 [千 kWh/m ²]	発電電力量 [千 kWh]
平成 20 年度	2.558	31.756
平成 21 年度	3.122	34.498

ただし、平成 20 年度は 5 月からのデータ。また、平成 20 年度は 8 日分、平成 21 年度は 307 日分のデータをもとに推定した値。



本校は平成 11 年 6 月に太陽光発電システムを導入し、管理棟屋上にパネルが設置されています。上のグラフに示すように、太陽光発電は日照量によって発電量が増減します。

本校が位置する瀬戸内は全国でも日照時間が比較的長く、本校にとっては非常に有効なエネルギー源です。本校ではこれまで使用する電気の約 2%を、この太陽光発電でまかなくなりました。パネルの寿命は約 20 年と考えられていますから、これからも CO₂ の排出がないクリーンなエネルギーとして期待されます。

(出典：環境報告書 P. 26)

観点 8-1-②： 教育内容、方法や学生のニーズを満たす I C T 環境が十分なセキュリティ管理の下に適切に整備され、有効に活用されているか。

(観点に係る状況)

情報処理教育センターが中心になって、I C T 環境を整備している。情報コンセントは、各実験室、研究室だけでなく、教室や学生寮の居室にも用意されている。更に、校舎内のほぼ全域で無線 LAN が利用可能である(資料 8-1-②-1)。

セキュリティを十分確保するため、セキュリティポリシーを制定し、対外接続部分にはファイアーウォールとアンチウイルス機器を設置し、外部からのウイルスの進入や不正アクセスを防ぐ体制を構築している(資料 8-1-②-2)。各端末では、ウイルス対策ソフトウェアを用意し、導入を義務付けている(資料 8-1-②-3)。ウイルス対策ソフトの導入の有無は、I C T 資産管理ソフトウェアによって年に 2 回のチェックを実施しており、各 PC におけるウイルス定義データベースの更新状況や感染情報などがサーバに転送され、一元管理がされている。更に、学生、教職員にセキュリティ意識を持たせるため、新入生、新たに採用された教職員に対してセキュリティに関するガイダンスを行っている(資料 8-1-②-4)。これらのセキュリティ対策を適切に実行し、確認するために、情報セキュリティ管理委員会を設置し、その決定に従って、情報処理教育センター運営委員会、情報ネットワーク運営専門部会がネットワークの運用に当たっている。更に、ネットワークが正しく運用されているかチェックするために、情報セキュリティ連絡網が整備されている(資料 8-1-②-5, 6)。

また、一斉授業で利用できる PC は、情報処理教育センターの T S S 室と情報演習室、専攻科 PC 室に設置されている。学生寮の居室からのネットワーク接続については、講習会を開いた上で登録を許可するシステムにしている(資料 8-1-②-7)。

こうしたセキュリティ管理の下で多くの授業や実験及び課外活動等に利用されている(資料 8-1-②-8)。また、情報処理教育センターのウェブサイトから利用できる e-learning コンテンツが準備されており、自学自習、資格取得対策及び授業で活用されている(資料 8-1-②-9)。

(分析結果とその根拠理由)

情報処理教育センターが中心になって、教育、研究に必要な I C T 環境を整備している。情報セキュリティ管理委員会を設置し、情報処理教育センター運営委員会、情報ネットワーク管理専門部会及び情報セキュリティ推進委員会が設置されており、セキュリティソフトをはじめとする I C T 資産管理を統合化する仕組みや、教育用 PC の維持・管理ソフトの導入など十分なセキュリティ管理体制が構築されている。こうしたセキュリティ管理の下で多くの授業や実験、課外活動及び学生寮の居室からも利用されている。また、多種類の e-learning コンテンツが準備されており、自学自習、資格取得対策及び授業で活用されている。

以上のことから、教育内容、方法や学生のニーズを満たす I C T 環境が十分なセキュリティ管理の下に適切に整備され、有効に活用されている。

○弓削商船高等専門学校情報セキュリティポリシー

制 定 平成14年12月13日

最終改正 平成21年11月19日

I ポリシー

1 情報セキュリティ基本方針

(1) 情報セキュリティの基本方針

弓削商船高等専門学校（以下「本校」という。）における情報資産について、「情報セキュリティポリシーに関するガイドライン（平成12年7月18日情報セキュリティ対策推進会議決定）」における「政府の情報セキュリティの基本的な考え方」を踏まえ、本校における継続的かつ安定的な教育・研究及び行政事務の実施を確保するとともに、高度な安全を確保し、利用者の信頼を得るためにふさわしいセキュリティ水準を達成するよう適切な情報セキュリティ対策を実施することが必要不可欠である。

このため、本校においては情報セキュリティ対策の包括的な規定として、次の事項を内容とする情報セキュリティポリシーを策定し、本校の情報資産をあらゆる脅威から守るために必要な情報セキュリティの確保に最大限取り組むこととする。

また、本校のすべての教職員（常勤職員、非常勤職員、臨時職員及び派遣職員）は、この目的を果たすため、ポリシーの実施に責任を負うとともに、ポリシーを尊重し、遵守しなければならない。

① 組織・体制

情報セキュリティの確保のための組織・体制は、幹部が率先して推進することが不可欠であることから、本校一体として情報セキュリティ対策を推進するための組織・体制を定めるものとする。

② 情報の分類と管理

本校の情報システムにおいて取り扱う情報について、重要な情報を重点管理する考え方から、重要度に応じた情報分類の定義、情報の管理責任、管理の方法について定める。

③ 物理的セキュリティ

情報システムの設置場所について、不正な立入り、損傷又は妨害から情報資産を保護するため、管理区域を設置する等の物理的な対策について定める。

④ 人的セキュリティ

情報セキュリティに関する権限や責任を定め、すべての教職員にポリシーの内容を周知徹底する等、十分な教育及び啓発が講じられるように必要な対策について定める。

⑤ 技術的セキュリティ

本校の情報資産を外部からの不正なアクセス等から適切に保護するため、情

(出典：弓削商船高等専門学校規則集 11-2 抜粋)

[トップ](#) > [ウィルス・セキュリティ対策](#)

ウィルス・セキュリティ対策 (13) | このカテゴリには 13 件のファイルがあります | 表示数 10 | 下層カテゴリを表示しない

[\[RDF\]](#) [\[RSS\]](#) [\[ATOM\]](#) [\[一覧\]](#)

ソート順 タイトル (△▽) 掲載日 (△▽) 評価 (△▽) ダウンロード数 (△▽)

現在のソート順: ヒット数(多いものから)

本校で提供するウィルス対策ソフトウェアのパッケージ・ドキュメントなど

カテゴリ ウィルス・セキュリティ対策

[マイリンクに追加](#)[ESET Smart Security \(32bit環境\) V4](#) POPULAR

掲載日: 2012-5-17

説明

2009年度から本校で提供するウィルス対策ソフトウェアです。

ウィルス対策に加えて、パーソナルファイアウォール、迷惑メール対策の機能を有します。

以下のOSでの利用を想定しています。

Windows XP Home Edition/Professional/7

Windows Vista Ultimate/Enterprise/Business/Home Premium/Home Basic

2009/9 Version4 提供を開始しました。

2012/4 最新版に更新しました。

1508 34.86 MB Windows [情報処理教育センター](#)

利用制限	校内向けの設定情報が登録された専用パッケージです。 学寮は設定情報が異なります。準備ができるまでしばらくお待ちください。
注意事項	インストールの前に既存のウィルス対策ソフトウェアを必ずアンインストールしてください。複数のウィルス対策ソフトがインストールされた場合、システム動作が不安定になります。

<http://www.center.yuge.ac.jp/modules/d3downloads/index.php?cid=3>

2012/09/12

(出典: 情報処理教育センター)

資料 8 - 1 - ② - 4

平成 24 年 4 月 2 日

新任教職員 各位

弓削商船高等専門学校
情報セキュリティ責任者 木村 隆一

ネットワーク利用に関する説明会について（通知）

このことについて、下記のとおり行いますので、御出席方よろしくお願いたします。

記

1. 目的 独立行政法人国立高等専門学校機構情報セキュリティポリシー対策規則および弓削商船高等専門学校情報セキュリティ教職員規程に基づく新任教職員を対象とするポリシーに関する研修
2. 日時 平成 24 年 4 月 3 日（火） 13 : 30 ~ 15 : 00
3. 場所 情報処理教育センター
4. 参加者 平成 23 年 5 月 1 日から平成 24 年 4 月までの採用・転入職員
5. 内容
 1. 情報処理教育センター長挨拶
 2. 弓削商船情報システム利用上の注意
 - ・ガイドラインを中心に
 - ・電子メール
 - ・WWW ブラウザの設定
 - ・グループウェア Aipo
 3. その他
講師 情報処理教育センター長 田房友典 先生

企画広報室 情報・広報係長 中塚
TEL 内線 4717
情報処理教育センター 柏原
TEL 内線 4725

（出典：情報処理教育センター）

○弓削商船高等専門学校情報処理教育センター規則

制 定 平成 6 年 2 月 4 日

最終改正 平成 23 年 12 月 22 日

(趣旨)

第 1 条 この規則は、弓削商船高等専門学校（以下「本校」という。）内部組織規則第 4 条第 2 項の規定に基づき、弓削商船高等専門学校情報処理教育センター（以下「センター」という。）の組織及び運営について必要な事項を定める。

(業務)

第 2 条 センターは、本校の共同利用施設として、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 教職員及び学生の教育研究活動に関する事項
- (2) 電子計算機システム及び情報ネットワークの管理運営に関する事項
- (3) 校内 LAN の構築及び運用に関する事項
- (4) センターを利用した社会人教育に関する事項
- (5) 情報セキュリティポリシー策定及び情報セキュリティ対策に関する事項
- (6) その他センター長が必要と認めた事項

(組織)

第 3 条 センターに次の各号に掲げる職員を置く。

- (1) センター長
 - (2) 副センター長 1 名
 - (3) その他必要な職員（以下「その他の職員」という。）
- 2 センター長は、本校の教授又は准教授の中から校長が任命する。
- 3 副センター長は、本校の教授又は准教授の中からセンター長の推薦により、校長が任命する。
- 4 センター長及び副センター長の任期は 2 年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 センター長は、センターの管理運営に関し総括する。
- 6 副センター長は、センター長を補佐する。
- 7 その他の職員は、センター長の命を受けセンターの業務に従事する。

(委員会)

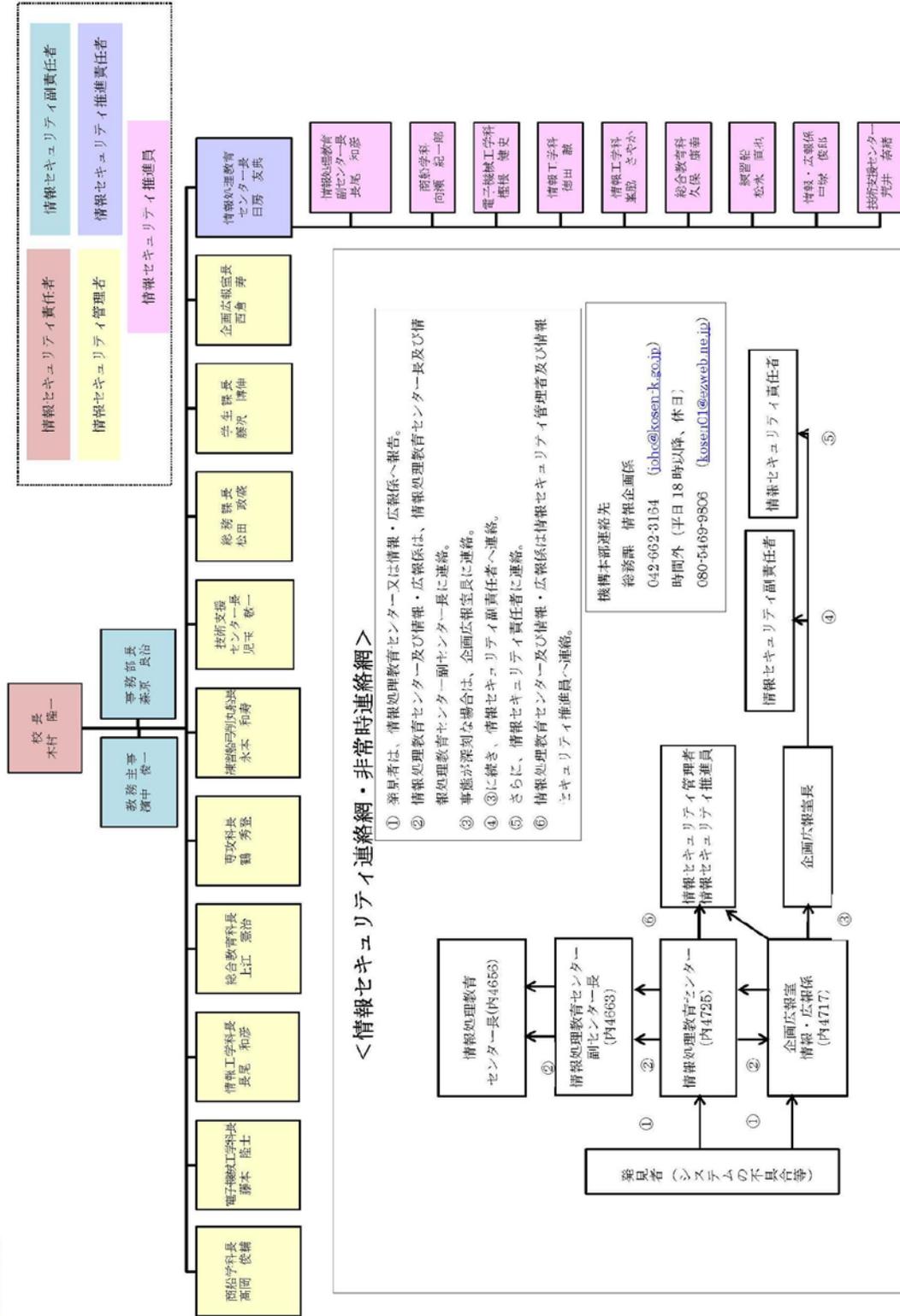
第 4 条 センターの運営に関し、第 2 条に掲げる事項を審議するため、センター運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

- 2 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。
- (1) センター長
 - (2) 副センター長
 - (3) 各学科及び総合教育科から選出された教員各 1 名
 - (4) 各課長
 - (5) 技術長

(出典：弓削商船高等専門学校規則集 2-11 抜粋)

情報セキュリティ連絡網・非常時連絡網 (平成24年度)

取扱注意



(出典: 情報処理教育センター)

居室からのネットワーク接続について

新規登録

以下のステップで、利用申請を行います。

Step1 用語テスト

- 用語テスト(口頭試問)を行います。
- 寮ネットワーク管理者(1科 峯脇 @ S棟3F)まで、新しくネットワークに接続したい旨をお伝えください。
- 用語テストの出題用紙は、研究室前(壁)に準備しているので、ご自由にお取りください。
- テストは随時受け付けています。
- テストに合格すると、申請書を渡します。その時に、Step2以降について簡単に説明します。

Step2 ネットワーク接続(プロキシ)の設定

- [ツール]-[インターネットオプション]-[接続]-[LAN の設定]の順に開きます。
- [自動構成スクリプトを使用する]をチェックします。
- アドレスの欄に、プロキシスクリプトのアドレスを入力します。
- プロキシスクリプトのアドレスは、Step1 で渡した申請書に明記しています。

Step3 ウィルス対策ソフトのインストール

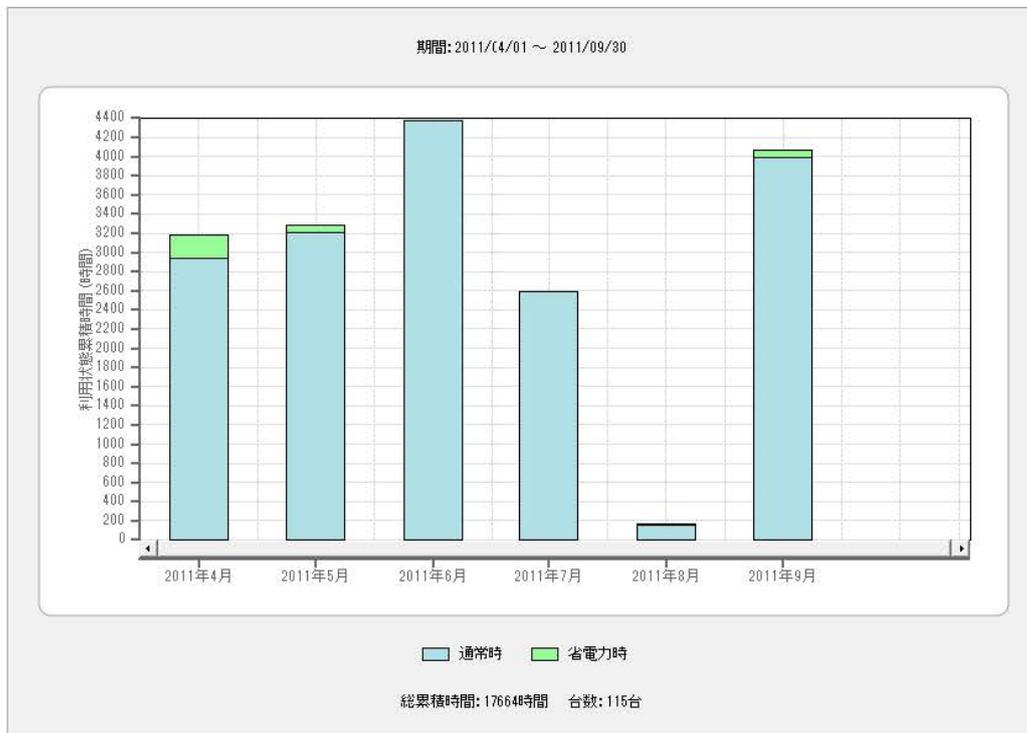
※個人でセキュリティソフトのライセンスを購入している学生は、このステップでの作業は必要ありません。

Step3-1 既存のセキュリティソフトの削除

- 情報処理教育センターで配布しているセキュリティソフト(ESET)をインストールするため、以前のセキュリティソフトを削除します。
- PC を新しく購入した場合、購入時にプリインストールされてるセキュリティソフトを削除してください。
- ESET 体験版をインストールしている場合、これを[プログラムの追加と削除]から削除してください。
- McAfee をインストールしている場合、[プログラムの追加と削除]から削除した後、**McUninstall.exe** を実行してください。
 - このとき、何度か PC を再起動することがあります。

(出典：情報処理教育センター)

情報処理教育センター管理 教育用 PC の稼働時間の推移



(出典: 情報処理教育センター)

授業科目	プログラミング特論			担当教官	長尾 和彦		
学 科	情報工学科	学 年	4 年	授業期間	通年	単位数	2
分 野	専門	授業形態	講義	履修区分	必修		
学習目標	高専には実践的な技術者の要請が求められている。技術者は、知識だけでなく経験に裏付けられた創造力やメンバー間の協調性が必要である。本セミナーでは、現代 GP プログラム「創造性豊かな実践的技術者育成コースの開発」をコースカリキュラムとして採用し、全国高専とコンペ形式でのプロジェクト開発を通じ、メンバー間の創造性とプロジェクト遂行能力の養成を行う。						
進め方	教科書等による座学講義と、講義内容の理解のために実際に中規模程度のプログラム開発を行う。						
学習内容	学 習 項 目 (時間数)			学習到達目標			
	<ul style="list-style-type: none"> ● オリエンテーリング (1) Moodle の使い方 ● コースの選択 (1) ● プロジェクト管理入門 (8) <ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクト管理の必要性 ・ プロジェクト管理の方法 ・ スケジュールの設定 ・ 開発工程 ・ 開発管理に用いるドキュメント ・ 管理者の心得 ● プロジェクト開発 (1) (4) <ul style="list-style-type: none"> ・ 開発準備・開発 …… 前期中間試験 …… ● プロジェクト開発(1)のつづき (10) <ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクトの計画・目標の設定 ・ コストの見積もり・スケジューリング ・ プログラム開発 ● レビュー・報告書の作成 (6) <ul style="list-style-type: none"> …… 前期期末試験 …… ● プロジェクト開発支援ツール (4) <ul style="list-style-type: none"> ・ 統合開発環境 Eclipse ・ Subversion によるバージョン管理 ・ XP 手法 ● プロジェクト開発(2) (26) <ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクトの計画・目標の設定 ・ コストの見積もり・スケジューリング ・ プログラム開発 ・ 中間レビュー・計画の見直し …… 後期中間試験 …… ・ プログラム開発 ・ 最終レビュー ・ プログラムの評価 …… 後期期末試験 …… 			<p>現代 GP 「E-learning を用いた創造性教育」のプログラムおよび各自が設定したテーマを用いて、実際のプロジェクト開発を行う。ドキュメント作成などプロジェクト管理に必要な手法を学ぶ</p> <p>E-Learning サーバにて作業記録を行う。</p> <p>プロジェクト開発の準備として、実際に用いるツール群の操作方法を体験する</p> <p>実際にグループ活動を通して、実践的なプロジェクト開発を体験する。 i アプリの開発、USB デバイスの開発など</p>			
評価方法	プロジェクト開発を通して提出するレポートを重視する。作業記録を必ずつけること。試験は適宜行う。						
関連科目	プログラミング応用③、アルゴリズム③、情報工学実験 4 (4)						
教科書等	http://e-class.center.yuge.ac.jp/						
備 考	グループでの活動が重要となるので、欠席して迷惑とならないよう留意すること。						

(出典：平成 25 年度授業科目シラバス P. 458)

観点 8-2-①： 図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されており、有効に活用されているか。

(観点に係る状況)

図書館には、閲覧室、書庫、視聴覚コーナーがあり、約 77,000 冊の図書のほか、学術雑誌や DVD 等の視聴覚資料等が、学術分野及び学科構成に対応して系統的に収集・整理されている（資料 8-1-①-4、資料 8-2-①-1）。また、図書検索用パソコンを設置し、広く図書館を開放し地域住民にもサービスを提供している（資料 8-2-①-2）。

平成 23 年度の教職員・学生利用状況は、年間貸出冊数 2,909 冊（うち学生 1,843 冊）、一日平均入館者数は約 20 人程である。利用者数は、時期によって大きな変動がある。試験やオープンキャンパス、商船祭などイベントのある 6、7、11、2 月が多くなっている（資料 8-2-①-3、4）。

図書館の利用促進のために、教員による図書の選定及び学生のための購入希望図書申込用紙の館内設置（資料資料 8-2-①-5、6）も行っている。また、作文コンクールの実施や図書館だよりの刊行（資料資料 8-2-①-7、8）等の図書館利用促進策・広報活動を進めている。しかしながら、全体的には利用率は十分ではなく、更に有効に活用されるよう努めることが課題である。

(分析結果とその根拠理由)

本校の図書館は、閲覧室、書庫、視聴覚コーナーがあり、約 77,000 冊の図書や学術雑誌等、教育研究上必要な資料が系統的に整備されている。図書館の利用を促進するために、図書の受入には教員や学生による図書の選定を行っており、また、地域住民への開放、休日開館、作文コンクールの実施、図書館だよりの刊行などを行っているものの、全体的には利用率は十分ではなく、更に有効に活用されるよう努めることが課題である。

平成24年3月31日現在

図書館統計表

1. 図書館蔵書数
(1) 図書の冊数

図書	単位:冊													計
	総冊数	文哲	学文	学文	学文	学文	学文	学文	学文	学文	学文	学文	学文	
7,055	1,914	5,462	6,223	9,641	21,816	1,263	4,855	4,282	14,318	76,829				
72	21	73	302	406	590	16	9	426	328	2,243				
9.2%	2.5%	7.1%	8.1%	12.5%	28.4%	1.6%	6.3%	5.6%	18.6%	100%				

※ 網掛け 内は洋書の内数を示す

(2) 雑誌の種類数

設置場所	単位:種													計
	000	100	200	300	400	500	600	700	800	900	900	900		
和雑誌	4	0	0	5	2	9	1	5	4	2	32			
洋雑誌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
和雑誌	3	0	0	1	1	6	0	4	0	1	16			
洋雑誌	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1			
和雑誌	7	0	0	6	3	15	1	9	4	3	48			
洋雑誌	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1			
合計	8	0	0	6	3	15	1	9	4	3	49			

2. 最近3ヶ年の図書増加状況

年度別	単位:冊													合計
	000	100	200	300	400	500	600	700	800	900	900	900		
平成21年度	148	13	70	85	87	117	14	43	29	230	836			
平成22年度	164	5	15	92	56	162	14	47	57	122	734			
平成23年度	182	18	27	74	66	237	33	32	33	168	870			
合計	514	36	112	251	209	516	61	122	119	520	2440			
%	20.9%	2.1%	3.1%	8.5%	7.6%	27.2%	3.8%	3.7%	3.8%	19.3%	100.0%			

※ 網掛け 内は洋書の内数を示す

(出典: 図書館)



(出典：図書館)

3.図書館利用状況(H23.4.1～H24.3.31)

H23入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
学生(平日)	551	673	751	558	48	661	591	740	416	274	614	232	6,109
学生(土日)	19	6	32	20	1	14	29	43	11	2	21	5	203
教職員(平日)	60	40	41	55	76	41	42	39	28	58	51	43	574
教職員(土日)	5	7	10	15	1	7	13	10	4	5	5	1	83
学外者(平日)	11	2	24	24	93	7	8	25	21	11	11	11	248
学外者(土日)	0	0	2	145	0	3	2	61	11	1	1	2	228
計	646	728	860	817	219	733	685	918	491	351	703	294	7,445

H23貸出冊数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
学生(平日)	188	206	159	157	4	135	241	187	137	116	176	64	1,770
学生(土日)	4	5	8	11	2	13	17	2	3	3	1	4	73
教職員(平日)	59	35	34	92	59	46	59	53	75	50	145	46	753
教職員(土日)	12	14	15	11	1	12	15	12	8	9	6	6	121
学外者(平日)	0	5	19	15	21	14	15	20	13	11	17	17	167
学外者(土日)	0	0	0	0	0	5	0	10	5	0	5	0	25
計	263	265	235	286	87	225	347	284	241	189	350	137	2,909

H23貸出者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
学生(平日)	117	132	107	92	3	82	155	134	97	84	114	38	1,155
学生(土日)	3	3	5	7	1	7	8	2	2	1	1	2	42
教職員(平日)	23	21	20	38	34	23	25	26	25	32	50	21	338
教職員(土日)	3	5	7	4	1	6	7	6	3	2	3	2	49
学外者(平日)	0	1	4	3	5	4	3	4	3	3	7	6	43
学外者(土日)	0	0	0	0	0	2	0	2	1	0	1	0	6
計	146	162	143	144	44	124	198	174	131	122	176	69	1,633

(出典：図書館)

(4) 図書貸出状況(分類別)

分類別 月別	000	100	200	300	400	500	600	700	800	900	計 貸出日数	1日平均 貸出冊数
	総 記 哲	学 歴	史	社会科学	自然科学	工学 技術	産 業	芸 術	語 学	文 学		
23年4月	28	0	2	26	9	75	2	9	20	76	247	11.8
23年5月	38	2	3	21	7	77	0	5	23	70	246	14.5
23年6月	29	1	5	10	9	66	0	2	17	73	212	9.6
23年7月	46	3	3	17	13	76	0	3	10	93	264	12.6
23年8月	2	2	0	6	4	10	2	10	1	47	84	4.4
23年9月	25	1	1	13	6	56	0	4	15	74	195	9.8
23年10月	63	2	2	13	10	80	0	14	32	99	315	15.8
23年11月	28	4	2	19	17	58	0	11	34	87	260	13.0
23年12月	23	1	7	24	8	66	5	6	37	48	225	12.5
24年1月	20	2	5	5	3	55	3	4	24	56	177	9.8
24年2月	33	4	9	15	17	134	3	14	48	61	338	16.1
24年3月	19	7	6	25	0	36	3	1	15	15	127	6.0
合計	354	29	45	194	103	789	18	83	276	799	2690	11.3
百分率 (%)	13.2%	1.1%	1.7%	7.2%	3.8%	29.3%	0.7%	3.1%	10.3%	29.7%	100.0%	3.3
	3.7%	0.9%	0.9%	7.8%	1.4%	7.3%	0.5%	8.2%	12.3%	57.1%	100.0%	

上段は平日、下段は土日

(出典：図書館)

H24商船学科教員選定図書一覧

書名(S)
しらせ 南極観測船と白瀬崋
海の自然と災害
海事レポート 平成24年度
一級海技士(航海)800題 平成25年版
二級海技士(航海)800題 平成25年版
三級海技士(航海)800題 平成25年版
一級海技士(機関)800題 平成25年版
二級海技士(機関)800題 平成25年版
三級海技士(機関)800題 平成25年版
交易と冒険を支えた航海術の歴史
海難審判庁裁判例集 第52巻
ソマリア沖海賊問題
飾り毛布花毛布 日本船伝統のおもてなし
海事関連業者要覧 2013
海運・造船会社要覧 2013

H24情報工学科教員選定図書一覧

書名(I)
基本3関数+IF関数ではじめるExcel集計テク
スマートフォンサイト設計入門
今すぐ使えるかんたんWindows 8
これからはじめるWebデザインの本
猫でもわかるC#プログラミング
基本情報技術者らくらく突破 表計算
要点早わかりITパスポートポケット攻略本
基本情報技術者試験によく出る問題集【午前】平成24-25年度
基本情報技術者試験によく出る問題集【午後】平成24-25年度
栢木先生のITパスポート試験教室 平成25年度
栢木先生のITパスポート教室準拠書き込み式ドリル 平成25年度
栢木先生の基本情報技術者教室 平成25年度
栢木先生の基本情報技術者教室準拠書き込み式ドリル 平成25年度
キタミ式イラストIT塾ITパスポート試験 平成25年度
キタミ式イラストIT塾基本情報技術者 平成25年度
エンジニアのプレゼン/スライド作成入門

H24電子機械工学科教員選定図書一覧

書名(M)
Rで学ぶデータ・プログラミング入門 RStudioを活用する
無敵のデザインアイデア・ファイル
10分あれば書店に行きなさい
マンガでわかる色のおもしろ心理学
マンガでわかる色のおもしろ心理学2
自由帳 Note for freedom
歴史が教えるエコライフ2 技術編
チンクエチントで駆け巡るイタリア5000km
トヨタの片づけ
聞く力 心をひらく35のヒント
教育現場でのデザインマネジメント
理系の子 高校生科学オリンピックの青春
算数・数学が得意になる本
就活の算数
Rで学ぶデータサイエンス2 多次元データ解析法
Rによるやさしい統計学
ZigBee開発ハンドブック
絵ときでわかる材料学への招待
JIS鉄鋼材料入門
CAD利用技術者試験2級 2012年版
ロボット工学の基礎
絵ときでわかるロボット工学
資源・材料・エネルギー工学
メイカーズ 21世紀の産業革命が始まる
日本発!世界を変えるエコ技術
634の魂 東京スカイツリー公認
加工学・加工機器
新しい機械の教科書
インストール及び解析実践ガイド
はじめてのオープンCAE
精密機械加工の原理
なごみ自動車大図鑑
ワイヤレス給電の技術と実際
すぐにつながる!どこまでも広がる! 超お手軽無線モジュールXBee
PICで楽しむAndroidアクセサリの自作
犬はあなたをこう見ている
色彩学入門 色と感性の心理
伊坂幸太郎全小説ガイドブック
オーデュボンの折り
陽気なギャングが地球を回す
陽気なギャングの日常と襲撃

H24総合教育科教員選定図書一覧

書名(G)
コンピュータが仕事を奪う
理性の限界 不可能性・不確定性・不完全性
知性の限界 不可測性・不確実性・不可知性
感性の限界 不合理性・不自由性・不条理性
戦国の交渉人 外交僧・安国寺惠瓊の知られざる生涯
奪われた「三種の神器」皇位継承の中世史
戦国誕生 中世日本が終焉するとき
逃げる公家、媚びる公家 戦国時代の貧しい貴族たち
戦国の貧乏天皇
大坂落城戦国終焉の舞台
戦国期浦上氏・宇喜多氏と地域権力
記録・沖縄「集団自決」裁判
東南アジアを知る事典 新版
戦国期赤松氏の研究
赤松氏五代 弓矢取って無双の勇士あり
備前浦上氏
バカな研究を嗜うな 寄生虫博士の90%おかしな人生力
宇喜多直家・秀家 西国進発の魁とならん
帝国解体 アメリカ最後の選択
タックスヘイブンの間 世界の富は盗まれている!
ゲーデルと20世紀の論理学1 ゲーデルの20世紀
ゲーデルと20世紀の論理学2 完全性定理とモデル理論
ゲーデルと20世紀の論理学3 不完全性定理と算術の体系
ゲーデルと20世紀の論理学4 集合論とプラトニズム
天才数学者列伝 数奇な人生を歩んだ数学者たち
身近で役立つ数学力
今度こそわかるゲーデル不完全性定理
身近な数学の記号たち
復習でわかる算数・数学の勉強
ゲーデルに挑む 証明不可能なことの証明
よくわかる数学記号 数学に出てくる量と単位
数学の視点
数理の世界 現代数学の平易な解説
数学者的思考トレーニング 代数編
数学者的思考トレーニング 解析編
入門微分方程式
ナヴィエ-ストークス方程式の数理解
論理・集合と位相空間入門
論証・集合・位相入門
角川新字源
日本語の隣人たち
語源でたどる英単語まんだら

(出典：図書館)

資料 8-2-①-6

購入希望図書申込用紙			
※ 希望する本やそれに代替する資料が所蔵されていないことを確認してください。 文庫本は受付できません。 参考書・資格試験問題集を優先します。 小説の希望にも応じることができますので職員までご相談ください。			
学科・学年		氏名	
書名		著者	
出版社		金額	

(出典：図書館)

資料 8-2-①-7

作文コンクール入賞作リスト

優秀作

- I 3 ■■■■■■ 「笑顔の理由」
S 1 ■■■■■■ 『この一言が人生を変えるイチロー思考』を読んで
以上 2名

佳作

- M 4 ■■■■■■ 「インターンシップ報告」
I 4 ■■■■■■ 「インターンシップに参加して」
I 4 ■■■■■■ 「インターンシップを終えて」
I 4 ■■■■■■ 「インターンシップ」
I 4 ■■■■■■ 「インターンシップで学んだこと」
I 4 ■■■■■■ 「インターンシップレポート」
I 4 ■■■■■■ 「インターンシップを終えて」
I 4 ■■■■■■ 「インターンシップ」
I 4 ■■■■■■ 「インターンシップを終えて」
I 2 ■■■■■■ 「私の町」
S 1 ■■■■■■ 「LITTLE BY LITTLE」
以上 11名

(出典：図書館)

図書館だより

第 16 号 平成 24 年 3 月 発行 弓削商船高等専門学校図書館



作 : S3 五井和貴

目次

第 1 回弓削商船高専読書会の開催について… 2	年間貸出ランキング… 7
平成 23 年度作文コンクール優秀作… 3	図書館利用状況 … 8
平成 23 年度学生図書委員 … 3	利用状況案内 (学生) … 8
学生図書委員・図書館司書おすすめの本… 4	編集後記 … 8
学生図書委員おすすめ DVD … 6	

(2) 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

本校の特徴である練習船「弓削丸」は、海技技術者育成のためだけでなく、工業系学科の学生の教育・実習、教員の研究、他機関との共同研究、四国地区高等専門学校との連携事業、オープンキャンパス、体験公開や地域イベント等の様々な分野で活用されている。

(改善を要する点)

老朽化した浮棧橋の改修及び居室が不足している学生寮の新棟建築が喫緊の課題になっている。また、図書館の利用率が十分ではなく、さらに有効に活用されるよう努めることも課題である。

(3) 基準 8 の自己評価の概要

本校の教育研究組織の運営及び教育課程の実現にふさわしい施設、設備が整備されており、適切な安全管理の下で有効に活用されている。特に、練習船「弓削丸」は、海技技術者育成及び研究のためだけでなく、工業系学科の学生の教育・実習、他機関との共同研究及び連携事業等の様々な分野で活用されている。また、バリアフリー化や環境への配慮もなされている。

情報処理教育センターが中心になって、教育、研究に必要な ICT 環境を整備しており、十分なセキュリティ管理体制の下で多くの授業や実験、課外活動及び学生寮の居室からも利用されている。また、多種類の e-learning コンテンツが準備されており、自学自習、資格取得対策及び授業で活用されている。

図書館には、閲覧室、書庫、視聴覚コーナーがあり、約 77,000 冊の図書や学術雑誌等、教育研究上必要な資料が系統的に整備されている。全体的な利用率は十分とはいえないが、利用を促進するために、図書の受入には教員や学生による図書の選定や休日開館、作文コンクールの実施、図書館だよりの刊行などを行って、さらに有効に活用されるよう努めている。